

ものづくり ～繊維産業活性化について～

平成21年3月21日

株式会社島精機製作所 島 正博

- ・ 繊維産業は労働集約型産業 輸入繊維製品が年々拡大 多くの在庫が発生
- ・ 労働力が必要になるのは縫製作業 無縫製技術の開発
- ・ ファッション性重視のものづくり 消費国での生産
- ・ 繊維産業→ファッション情報産業への脱皮
- ・ 大量生産向け製品と多品種少量製品 国際的な棲み分け
- ・ 無縫製技術 省資源化＝カットロス・縫代ロス→材料のロス解消（時間短縮） ニットは糸のリユースも可能
売れ残りロス 品切れロス→作り足しで流通のロス解消
縫い代がない→肌に優しい 軽くて着心地がよい
新しい三次元衣類の創造 今までに無いオリジナル商品 適正価格でオーダーメイド 心の満足度
- ・ 新しいものづくり対応できる人材の育成
商品の企画デザインから生産、流通、販売にいたるまでトータルで対応できる人材が必要
デザイナー パタンナー マーチャンダイザー
ITの活用 CGによるバーチャルサンプル 糸から最終完成品の予測
魅力あるオリジナル商品の提供 衣の文化を高める 需要の創出 雇用の拡大
経済産業省 SPA（製造小売業）

【活性化の提言】

- ① 【人材育成支援】新しい時代に合った人材育成にご支援をいただきたい
- ② 【知的財産保護】コピー品や特許侵害に対して国際的な対応を強化していただきたい